

湘南障害者就業・生活支援センター／湘南地域就労援助センター
令和 4 年度事業報告

●令和4年度事業目標

重点目標として、多くの登録者と新規相談者の多様な相談に対応するため社会情勢や雇用情勢を把握して支援を行う、地域の就労支援に関するコーディネート機能について自らの理解を深め役割を継続的に地域に発信することを掲げ、次の方針をもとに事業を行った。

- 求職者の就労準備状況を的確にアセスメントし、福祉サービスや相談支援、行政へ計画的につなげる支援を行う。また福祉サービス機関に対して、センターの機能理解のための啓発活動を行う。
- 就労者向け、求職者向けそれぞれのプログラム提供により、登録者と関わる機会を持つ。
- 地域支援機関との事例検討会を主催し、関係機関との連携強化と地域全体の就労支援力向上を促進する。
- 1,000名を超える登録者への支援方法を検討し、面談や訪問支援、福祉サービス機関在籍者への支援について、登録者や関係機関の理解を得て再構築を行う。

●事業内容

(1)相談・支援の実施

年齢や障害、相談が就労以外と多岐にわたっており、電話や来所での相談のみが88件、登録が120件となった。登録後すぐに就労することが難しい登録者や再就職が難しい離職者については、福祉サービスへ繋げる支援を行い、31件が新規利用に至った。定着支援は、職場訪問以外に登録者・企業との電話やメール、オンラインでの相談対応を積極的に実施した。必要におうじて福祉機関や相談支援機関、生活支援機関、生活困窮支援機関、医療機関、教育機関、行政機関等と情報共有をしながら支援を進めた。

【実績】

① 新規相談者数（件）

	求職相談	定着相談
身体	31	2
知的	13	18
精神	65	17
その他	61	1
小計	170	38
合計	208	

② 新規登録者数（名）

求職登録者	定着登録者
79	41

③ 新規就労者数：62名（前年度就労者の1年経過後定着率 87.7%）

④ 延べ相談支援件数(来所、電話、訪問、同行等)：6,031件

⑤ 職場実習等実施状況：26件

⑥ 事業主に対する支援：258事業所（職場訪問件数272件、電話等相談支援件数延べ1,550件）

⑦ 年度末登録者数：1,143名

(2)職場定着促進のための在職者の交流活動等の実施

在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着を促進する。在職者の交流活動を以下の通り実施した

- ① 第1回「気軽に出来るリセットヨガ」
【動画配信】令和4年7月下旬～ 【視聴回数】70回
【対象】就労者全員 【講師】湘南台みんなdeよが教室 インストラクター 浅野氏
- ② 第2回「勉強しよう。お金のこと…だいじなお金のつかい方、まもり方」
【集合開催】令和4年11月12日(土)10:30～11:30 【参加者】13名
【対象】知的障害者 【場所】ココテラス湘南会議室 【講師】ゆうちょ財団相談支援専門員 江國氏
- ③ 第3回「職場で良い関係を築くためには」
【集合開催】令和5年1月28日(土)11:00～12:00 【参加者】19名
【対象】就労者全員 【場所】ココテラス湘南会議室 【講師】センター職員
- ④ 勤続表彰
【集合開催】令和5年3月24日(金)・25日(土) 【参加者】24名
【対象】就労者のうち、表彰対象年数勤続者 【場所】湘南地域就労援助センター
- ⑤ しょうなん通信の発行・郵送
【発行・郵送】年3回 【対象】就労者 【目的】職員紹介、地域資源情報等の発信、勉強会の案内等

(3) ピアサポート活動

働く障害当事者の情報共有の場として次の場を企画実施した。

- ① 座談会「はたらく仲間と、きがるに話して気持ちスッキリ！」（認知行動変容アプローチについて）
【集合開催】令和4年9月2日(金)18:00～19:00 【参加者】8名
【目的】安定した勤務継続に向けて、就労者同士によるストレス解消方法の共有や繋がりづくりの促進。
- ② センター新規相談者向け説明会（体験報告や当事者視点でのアドバイス）
【集合開催】毎月1回第3木曜 10:00～11:00、13:00～14:00 計24回
【参加人数】各回5名程度
- ③ 就職応援講座「面接のスキルアップと働いている方の実体験について」
【集合開催】令和4年10月13日(木)14:00～15:00 【参加者】17名
【対象】求職者全員 【場所】ココテラス湘南会議室 【講師】就労移行支援事業所ウィング・ビート山梨氏

(4) 地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等

地域の支援機関等と連携を図るハブ機関を目指し、支援ネットワーク形成や関係機関及び企業支援担当者等へのノウハウ移転を行い、地域全体の支援水準の底上げを図った。

- ① 圏域内の就労支援ノウハウの底上げと就労支援員同士のネットワークと横連携強化を目的に、就労移行支援事業所や就労継続支援事業B型等の福祉機関・行政・ハローワーク・相談支援事業所・医療機関等の主に就労支援に携わる職員を招き、事例検討会を開催した。
【オンライン】令和4年7月14日(参加：15機関26名)、令和4年10月21日(参加：10機関24名)
【対面】令和5年2月22日(参加：13機関28名)
- ② 神奈川県障害者就業・生活支援センター連絡会議に参画し、他所における近況・課題の共有、コロナ関連、インクルーシブ校との連携、コロナ体制強化事業、連絡会議の取り組み内容、在職者交流活動の取り組み他を共有した。

【オンライン】令和4年11月7日、令和5年3月20日

- ③ 圏域在住の特別支援学校等の進路担当教諭を招き、安定した就業生活を送るための定着支援を実施すべく、卒業生の情報交換や就労後の支援体制を検討する会議を開催した。

【対面】令和4年12月26日（参加校：12校13名）

- ④ 茅ヶ崎市就労・生活支援部会に参画し、7月～9月に市内4カ所で職場体験実習を企画、実施した。
⑤ 湘南東部地区精神障がい者就労推進協議会（SEJA）に参画し、毎月1回、定着支援移管ケースに支援や就業啓発についての各種企画、情報共有を行った。

・「神奈川県内の労働局、職業センター、県雇用対策課、障害サービス課、雇用促進センターの取り組み」

【目的】県内各機関の施策や今後の事業展開を学ぶ

【オンライン】令和4年6月24日 【参加者】31名

・「ホップステップジャンプセミナー(HSJ)」

【目的】仕事の探し方、模擬面接他

【対面】全6回（令和4年11月4日～12月13日） 【参加者】9名

・「就労フェスティバル」

【目的】主に求職者を対象に企業講演と就労支援事業所の紹介 【動画配信】令和5年3月15日～

(5) 中小企業における障害者支援担当者に対する支援の実施

障害者雇用にむけてアクションを起こす中小企業は徐々に出てきているものの、未だノウハウを有する人材が限定的である。また雇用管理共有や日々業務における悩み、疑問を相談・解消できる場がなく、継続や更なる促進に至らない状況をふまえ、企業の垣根を越え、日常的に相談し合えるネットワークの構築を図ることを目指し、藤沢市と共同して中小企業交流会を開催した。就労している当事者や障害者雇用を熱心に取り組んでいる企業に講演してもらい、参加企業と障害者雇用についてのグループワークを行った。

【対面】令和4年10月5日(水) 【参加企業】7社7名

(6) 職員参加研修

No.	研修名	日程	参加人数
1	神奈川障害者職業センター技能体得講座 (アンガーマネジメント)	6月8日	1名
2	法人3センター(湘南、川崎、横浜南部)事例検討会の共催	6月・9月・12月・3月	各回1～2名
3	障害者就業・生活支援センター基礎研修	7月12日～14日	1名
4	障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修	11月30日～12月2日	1名
5	JC-NETジョブコーチ養成研修	11月12日～13日、12月3日～6日	1名
6	対人援助に関わる人のための「心を学ぶ講座」 (大人の自閉スペクトラム症①障害編、②支援編)	① 11月30日 ② 1月25日	1名
7	藤沢市精神保健福祉公開講座 (思春期・青年期以降の発達障がい)	12月3日	1名

8	日本知的障害者福祉協会 相談支援・就業支援セミナー	12月8日	1名
9	高齢・障害・求職者雇用支援機構 南関東エリア 就業支援実践研修（精神障害コース）	12月12日	1名
10	川崎市福祉人材バンク 地域課題研修（知的障害者理解研修）	12月13日	1名
11	神奈川障害者職業センター 技能体得講座（疲れ・ストレス/リラクゼーションについて）	12月19日	1名
12	法人3センター（湘南、川崎、横浜南部）研修共催	2月9日、14日	8名
13	第9回障害者就業・生活支援事業をより深く考えるための 全国フォーラム	2月10日、11日	2名
14	NPO法人横浜上大岡臨床センター 精神障がい者の知識と 理解 ～精神障がい者が地域で安心して暮らすために～	2月21日	1名
15	神奈川県社会福祉協議会 セルフヘルプ・グループに学ぶ仲間と居場所のチカラ	3月3日	1名

（7）厚生労働省・神奈川労働局経験交流会等の出席

①第1回都道府県センター連絡会議

労働局主催の都道府県連絡会議に出席し、同一県内の各センターとの意見交換や事例検討を行い、センター間の連携を強化、支援力の質の向上を図った。

【対面】令和5年3月2日（木） 【参加者】主任就業支援担当、就業支援担当

②南関東ブロック経験交流会議

障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席し、グループ議題に合わせた意見交換会
課題の共有を図った。。

【オンライン】令和4年11月16日(水) 【参加者】主任就業支援担当

（8）障害者就業支援アドバイザーの活用

伊藤 絵美 氏（洗足ストレスコーピング・サポートオフィス所長、博士（社会学）公認心理師、臨床心理師、精神保健福祉士）より登録者の対応について、個別事例の対応方法について助言をいただいた。

令和4年度は3回活用した。